



信濃毎日新聞

SHINANOMAINICHI SHIMBUN

(長野)

'24.7.25

来月4日 中野でのBC信濃戦会場 /
盛り上げ役は第一学院高生
 ゲームやペイント 無料提供



永田さん(左)と打ち合わせをする生徒ら

中野市営球場で8月4日に行われる信濃グランセローズ対栃木ゴールデンブレーブスの試合に合わせ、広域通信制の第一学院高校長野キャンパス(長野市)の生徒が、球場入り口付近でゲームやボディペイントの無料コーナーを設ける。プロスポーツを通じた

地域の活性化に協力したいと初めて企画。同校キャンパスで24日、信濃グランセローズの球団職員と本番に向けて打ち合わせた。学校側は当初、「ボランティアを体験させたい」と球団側に提案したが、球団職員

永田すみ子さんが「若いファンを獲得につなげた

人の力でホームタウンの中野の球場を楽しいボールパークにしたい」とイベントの企画を頼むことに。同校の課題解決型プロジェクトに参加する2、3年の10人余が6月から約2カ月かけて準備した。

生徒たちは、ボールを番号の付いた的に当てる「ストラックアウト」、スパーボールすくい、ボディペイントの3種類のコーナーを設けることを決め、段ボールなどを使い小道具を手作りした。

3年の坂口りかさん(17)は「野球に興味はなかったが、調べる過程で愛着が湧いた」と今ではグッズを集めるファンになった。3年の森山純之介さん(17)は「子どもから大人まで楽しんでほしい」と意気込む。永田さんは「ありがたい。この企画をきっかけに

い」としている。
 当日は午後4時半から開設する。コーナーの1帯には飲食ブースなども並ぶ。